



2018年

11月

中国四国農政局
岡山県拠点

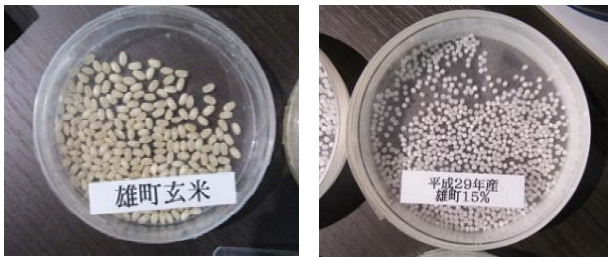
日本酒づくりに向いている岡山の米！

～ 岡山の酒づくりはオマチストの好きな雄町だけではなかった ～

岡山南部の水田地帯では、ビール麦などの収穫後に米を作付けする二毛作地帯が多いため、作付け時期の遅い品種が好まれることや、草丈が高く倒伏しやすいなど栽培が難しい稲でも穏やかな気候のため作りやすいことから、朝日・アケボノ・雄町という品種が作付けされています。

これらに共通するのは酒造用に使われるということです。雄町は酒造好適米ですが、主食用品種であるアケボノは主に掛米として使われていて、朝日は主に麴米として使われています。

岡山の米の魅力を関係者に伺いました。



(雄町の玄米と15%までとう精した精米)



(15%の雄町で作ったお酒)

【データ】

○朝日・アケボノ→岡山県南部のみで作付け。6月に田植えを行い、10～11月に刈り取り。朝日は草丈が高く倒れやすく、脱粒しやすい。

○雄町→岡山県での作付面積は全国の約95%。草丈が、1.6メートルと他品種に比べて高く倒れやすく、病害虫に弱い。

【用語説明】

○酒造好適米→酒造専用に栽培されている米。

○掛米(かけまい)→醪(もろみ)を造るときに仕込む蒸米で、酒が出来るまでに使う米の約8割。

○麴米(こうじまい)→麴を造るのに必要な米で、酒が出来るまでに使う米の約2割。

★ 地元の米で酒づくりをする蔵元（岡山市・宮下酒造株式会社）

お酒に使っている米は朝日・アケボノ・雄町・山田錦の4品種で、ほぼ岡山県産を使用しています。麴米と掛米は同じ品種を使用し、精米歩合も同じ物を使用しているため、品種それぞれの味わいを感じることが出来るようにしています。高精白に耐えられる雄町を精米業者と生産者が協力して作り、15%の極限までとう精した雄町でお酒をつくりました。岡山の米、水、技による酒づくりで、岡山の素晴らしさを多くの人に伝え、喜びを感じてもらえる酒づくりをしています。

「古来からある酒づくりに向いた岡山の朝日・アケボノを使ったお酒をアピールしていきたい。雄町は全国的に広まっており、朝日・アケボノもファンを作っていきたい。」と話されました。

★ 地元の米の普及に力を入れるJA全農おかやま

平成20年から東京で「雄町サミット」を開催し、雄町を使った日本酒の販路拡大や知名度向上に取り組んだ結果、日本酒の銘柄ではなく、雄町を使ったお酒を愛する「オマチスト」という愛飲家が全国で増加しました。さらに今年は「朝日米サミット」も開催され、雄町と同じく朝日も交配されていない原生種としての魅力に注目いただき、蔵元に広く使われるようになってきました。

「蔵元からは地元の米を使いたいという気運が盛り上がり、オマチストという熱狂的なファンも獲得しました。今後お酒も岡山の米も県内はもとより県外でも広がって欲しい。」と話されました。



【オマチストが参加した雄町サミット】
写真提供：JA全農おかやま

日本酒の原料である米に対するファンを獲得している岡山の米。これからの寒い季節、関係者の想いが込められた岡山の米を使った日本酒の熱燗で暖を取るのはいかがでしょうか。

インフォメーション

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の 選定結果について

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信しているものです。

中国四国農政局では、平成30年度応募のあった143地区について、その地域での農山漁村の有するポテンシャルを引き出した取組等である「農山漁村（むら）の宝」として、広く情報発信することを通じ、管内地域での横展開の取組を行うこととします。

平成30年11月に選定委員会を開催し、これら応募地区の中から、岡山管内では「一般社団法人 宇治雑穀研究会」（高梁市）を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として選定しました。

★詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html#01>

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」 31年産輸出用米推進マッチングイベント(岡山会場)の開催について

我が国のコメの消費量が毎年約8万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題です。

昨年9月8日、コメ及びコメ加工品の輸出目標「600億円」の目標年次である平成31年に向け、コメの輸出量を飛躍的に拡大するため、農林水産大臣の下、「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」を立ち上げました。

今般、31年産輸出用米の取組に向け、本プロジェクトについて情報提供を行うとともに、ご賛同いただいた戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地（産地）等との結びつきを一層推進するためのマッチングイベントを開催します。

★詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_sinko/181122.html

平成30年7月豪雨に関する情報について

平成30年の梅雨期における豪雨及び暴風雨により、各地域の農林水産業に被害がもたらされました。

下記サイトには「平成30年7月豪雨」についての情報を随時掲載しておりますので、御利用ください。

中国四国農政局ホームページ

<http://www.maff.go.jp/chushi/saigai/1807gou.html>

農林水産省ホームページ

<http://www.maff.go.jp/j/saigai/ooame/h3007/index.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0927 岡山市北区西古松2丁目6-18 西古松合同庁舎

TEL (086) 899-8610 (内線 113) FAX (086) 899-8611 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>